

九州大学 配偶者帯同雇用制度等

対象: 本学に採用される又は採用されている教員のうち、
配偶者の採用等を希望する者で、
総長が認めた教員をFirst hire、
その配偶者をSecond hire として教員に採用

特徴: 日本における数少ない世界標準の制度として注目

制度設立の経緯・実績

2015年5～12月

男女共同参画推進室内に
ワーキンググループ設置
欧米の先行事例調査
学内外アンケート調査

大学本部(人事)
での制度設計

男女共同参画
推進室での活動

2016年4月

人事担当理事による学内調整
男女共同参画推進室による啓蒙活動

2016年3月

シンポジウム開催

「配偶者帯同雇用の現状と可能性」



基調講演: Stanford大学
Prof. Londa Schiebinger



パネル討論

2016年4月

報告書を総長へ提出

2017年7月25日

配偶者帯同雇用制度を創設



総長によるプレス発表

2018年11月 第1例 誕生

First hire 男性教員 / Second hire 女性教員

2020年 2月 第2例 誕生

First hire 女性教員 / Second hire 男性教員

配偶者同行休業規程(2017年10月～)

配偶者が海外で勤務等をする場合、同行して生活を共にするための休業制度

九州大学

男女共同参画推進室

選考の流れ

First hire 選考の流れ

[1] 公募の実施

A部局公募
(1st候補者応募)

[2] 候補者選考

教授会等
(A部局)

[3] 候補者推薦

1. 役員会の下
の選考委員会
2. 役員会
3. 総長

[4] 1stとして 採用・認定

既雇用者は部局長に申し出

[5] 所属の調整

A部局

A部局

B部局

C部局

D部局

※ 教授会を経て1st候補者の採用又は認定を希望する部局等(A部局)の長は、2ndの所属について他部局と調整を行う。

人件費の半分を
本部が負担

Second hire 選考の流れ (Firstが採用or 認定された場合)

[6] 資格審査

教授会等
(B部局)

[7] 候補者推薦

A部局

B部局

1. 役員会の下
の選考委員会
2. 役員会
3. 総長

[8] 2ndとして 採用・認定

その他の支援制度等／参考情報

両立支援環境整備	育成・増加策
<ul style="list-style-type: none">■学内3保育施設設置(2009年) (2016 キャンパス移転で2つに統合)■研究補助者雇用支援(2007年～) シングルファーザー支援(2016年～)■教授・准教授出産後の研究補助者 雇用支援(2014年～)■教員の出産時等中長期休業時の 支援教員雇用(2010年～)■育児シッター利用料の一部補助 (2015年～)■配偶者同行休業規程(2017年～)■在宅勤務制度(2020年～)	<ul style="list-style-type: none">■学内研究助成女性枠(2006年～)■スキルアップ支援(2007年～)<ul style="list-style-type: none">・国際学会派遣支援・英文校閲経費支援・英語能力向上セミナー・エンカレッジメントセミナー■出産・育児復帰者研究費支援 (2015年～)■女性枠設定による教員採用・養成 システム(2009～2018年)■配偶者帯同雇用制度(2017年～)■ダイバーシティ・スーパーグローバル 教員育成研修(SENTAN-Q)

制度URL: <https://danjyo.kyushu-u.ac.jp/notice/view.php?cId=2600&>

海外調査: ポリモルフィア Vol.3, pp.66-75 (2018年3月)[ISSN 2424-1113]

シンポジウム報告: ポリモルフィア Vol.2, pp.10-20 (2017年3月)[ISSN 2424-1113]

SENTAN-Q: <https://sentan-q.kyushu-u.ac.jp/>

九州大学

男女共同参画推進室